

帝キネ芦屋時代映畫

原作者 近松門左衛門氏
脚色者 上島 量氏
監督者 山下 秀一氏
撮影者 塚越 成治氏
主演者 市川 小福氏
久野 あかね嬢

紹介 原作は近松門左衛門の「中萬草」である

事々明らかに表示してある丈で好意が持てる。其上従来帝キネで製作された近松ものの内で最も近松ものらしい気分を醸成して居る映畫であつた事は嬉しい。舞臺ではめつらに出ないものだけ興味もあつた。この位に映畫化されて居れば近松物の愛好者に敢て一見を薦めても大したお叱りも蒙らぬであらう。上島量氏の脚色も餘り興行價值を損はず努めて原作の味を出そうとして居るし山下秀一氏の監督もそれを受けて可成りやはらかい雰囲気醸成して居る。雑賀屋の二階に於けるお梅と久米之介の睦言など殊に良かった。昨年氏が製作した西鶴の「武家義理譚」と本篇に接し氏がこつした方面に優れ手腕を持つて居る事を知つた。今後も氏のこつした方面の活躍を期待して置こう。市川小福氏の久米之介も久野あかね嬢のお梅も素直に動いて居る。中にも久野あかね嬢は少く共評者の見た嬢の作品の内では最も其い出来であると云ひたい。片岡童十郎氏の與治衛門も淨瑠璃劇の人物にはふさはしい演出を見せて呉れた。高野山の件りばもう少し見せて欲しかったがものみのだけこれ以上仕方があるまい。撮影は難が少い。—— 山本 綠葉 ——
興行價值—— 亂闘は少ない、筋の運びもいから一般には受けまい、只近松ものを知つて居る人が見たら好意が持てる映畫である。(五月二十一日 大阪芦屋劇場 神戸相生座 京都キネマ倶楽部封切)